

2026 年 8 月 3 日

日産自動車、2026 年度第 1 四半期決算を発表

- 連結営業利益は前年から 1,570 億円改善し 779 億円
- Re:Nissan が着実に進捗し、第 1 四半期で 600 億円のコスト削減
- 2026 年度の営業利益は、2,000 億円の見通しを維持
- 中国市場の状況を反映しグローバル販売台数見直しを見直し(中国除きでは前年比増加を見込む)

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市西区、社長：イヴァン エスピノーサ）は 3 日、2026 年度第 1 四半期決算を発表しました。

厳しい市場環境が続く中、日産は Re:Nissan を規律を持って実行し、着実に収益を改善しています。第 1 四半期は 600 億円のコストを削減し、営業利益の改善に貢献しました。収益性と競争力の強化に向けた着実な進展を示しています。

第 1 四半期のグローバル販売台数は 70 万 1 千台でした。売上高は前年同期比 2,570 億円増の 2 兆 9,642 億円となりました。連結営業利益は前年同期比で 1,570 億円改善し、779 億円の黒字となりました。これらは、生産と車両コストの改善が着実に進展したことに加え、良好な為替の影響、販売パフォーマンスの改善、規律あるコスト管理によるものです。また、2025 年度の米国関税に関連する一時的な利益も、営業利益の改善に寄与しました。当期純利益は前年同期比で約 1,200 億円改善し、38 億円の黒字となりました。

2026 年度第 1 四半期 3 か月財務実績

中国合併会社に持分法を適用した 2026 年度第 1 四半期の財務実績は次の通りです。

（東京証券取引所届出 - 中国合併会社に持分 法を適用） ^{注2}	2025 年度 第 1 四半期	2026 年度 第 1 四半期	増減 (対前年)
売上高	2 兆 7,069 億円	2 兆 9,642 億円	2,573 億円
営業利益	-791 億円	779 億円	1,570 億円
売上高営業利益率	-2.9%	2.6%	5.5 ポイント
経常利益	-1,092 億円	491 億円	1,583 億円

当期純利益 注1	-1,158 億円	38 億円	1,195 億円
----------	-----------	-------	----------

2026 年度第 1 四半期の平均為替レートは、1US ドル 160 円、及び 1 ユーロ 185 円を使用しています。

2026 年度の業績見通し

特に中国市場で事業環境の厳しさが増しており、日産は 2026 年度のグローバル販売台数の見通しを 330 万台から 315 万台へ見直しました。その他の主要市場では、通期目標の達成に向けて進捗しています。

2026 年度通期見通しは、原材料価格の上昇や中東地域における地政学的な不確実性などの外部環境による逆風に加え、良好な為替環境や第 1 四半期に実現した一時的な利益、その他のプラス要因も織り込んでいます。日産は Re:Nissan の規律ある実行、継続的なコスト削減、主要市場における競争力強化に向けた取り組みにより、2026 年度通期の財務見通しを維持し、Re:Nissan で掲げた 2026 年度の目標を達成していきます。

「Re:Nissan」の進捗

主要市場における販売の勢いと新型車の高い需要に支えられ、日産の事業は Re:Nissan で掲げた目標に沿って着実に進展しています。

米国では、「Built in the U.S. for the U.S.」戦略が着実に成果を上げており、競争力を強化しています。日産は過去 10 カ月間で最も高い成長率を示す量販ブランドとなり、小売販売は 16 カ月連続で前年同期実績を上回っています。第 1 四半期に、米国での日産の販売台数は約 10%増加しました。

日本では、商品ラインアップの向上や新商品に対する需要の拡大から、販売の勢いを高めています。新型「キックス」と新型「エルグランド」はお客さまから好評を得て、累計受注台数はそれぞれ 1 万 1 千台、8 千台に達しています。

中国では、適正な在庫管理の徹底に加え、「N7」、「N6」、「NX8」、「フロンティア プロ」を中心とした新エネルギー車（NEV）戦略の加速、さらに輸出を開始することにより、事業の再構築を進めています。これらの取り組みにより、2027 年以降の持続的な成長に向けた事業基盤を強化しています。

Re:Nissan によるコスト削減の取り組みも着実に成果を上げています。第 1 四半期には、主に変動費の削減により、計約 600 億円のコスト削減を実現しました。これは、生産、調達、

研究開発などにおける継続的な効率化の取り組みと、費用管理の徹底、全社的な業務効率の向上によるものです。

CEO のエスピノーサは、「中国や中東を中心に厳しい事業環境が続いていますが、私たちの進むべき方向は明確です。課題がある領域では適切に対応し、成長機会のある市場では販売の勢いを高めながら、Re:Nissan を規律とスピード感を持って推進しています。

主要市場においては、変化する事業環境に対応しながら、商品競争力の強化、コスト構造の改善、そしてより俊敏な企業への変革を進めています。

私たちは引き続き、お客さまへの価値提供を最優先に、収益性とフリーキャッシュフローの改善を進め、将来にわたって持続的に成長できる、より強靱な日産を実現していきます」と述べました。

注 1) 親会社株主に帰属する当期純利益

注 2) 2013 年度から中国の合併会社 東風汽車有限公司の連結方法が変わり、持分法が適用されています。本会計基準では、連結当期純利益に変化はないものの、連結売上高と連結営業利益には東風汽車の数値は含まれなくなります。

*業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。実際の業績は現状の業績見通しと異なる可能性があることをご承知おきください。

以上

		当第1四半期実績 27年3月期	前第1四半期実績 26年3月期	前年度実績 26年3月期	当期予想 27年3月期
売上高 (注1)		29,642億円 (+9.5%)	27,069億円 (▲9.7%)	120,079億円 (▲4.9%)	130,000億円
	日本	10,490億円 (+6.9%)	9,809億円 (▲17.2%)	43,227億円 (▲11.0%)	
	北米	19,278億円 (+22.5%)	15,736億円 (▲13.0%)	69,583億円 (▲2.9%)	
	欧州	3,736億円 (+4.9%)	3,560億円 (▲16.0%)	17,176億円 (▲4.0%)	
	アジア	2,821億円 (▲11.0%)	3,169億円 (▲18.5%)	13,032億円 (▲20.9%)	
	その他地域	2,847億円 (▲15.5%)	3,369億円 (+8.6%)	15,568億円 (+0.8%)	
	小計	39,171億円 (+9.9%)	35,643億円 (▲13.4%)	158,587億円 (▲6.7%)	
	消去	▲ 9,529億円 -	▲ 8,574億円 -	▲ 38,508億円 -	
営業利益 (注1)		779億円 (-)	▲ 791億円 (-)	580億円 (▲16.9%)	2,000億円
	日本	176億円 (-)	▲ 33億円 (-)	54億円 (▲96.0%)	
	北米	960億円 (-)	▲ 542億円 (-)	687億円 (-)	
	欧州	▲ 261億円 (-)	▲ 235億円 (-)	▲ 541億円 (-)	
	アジア	55億円 (▲35.3%)	86億円 (▲50.6%)	313億円 (▲45.3%)	
	その他地域	▲ 77億円 (-)	▲ 16億円 (-)	▲ 52億円 (-)	
	小計	853億円 (-)	▲ 739億円 (-)	459億円 (▲18.5%)	
	消去	▲ 74億円 -	▲ 52億円 -	121億円 (▲10.3%)	
経常利益		491億円 (-)	▲ 1,092億円 (-)	11億円 (▲99.5%)	
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益		38億円 (-)	▲ 1,158億円 (-)	▲ 5,331億円 -	200億円
1株当たり当期(四半期)純利益		1.08円	▲ 33.15円	▲ 152.58円	5.72円
潜在株式調整後1株当たり当期(四半期)純利益		1.03円	-	-	
為替レート					
ドル／円		160円	145円	151円	150円
ユーロ／円		185円	164円	175円	175円
設備投資 (注2)		1,137億円	1,274億円	4,992億円	4,800億円
減価償却費 (注2)		676億円	636億円	2,614億円	2,500億円
研究開発費		1,202億円	1,403億円	5,625億円	5,500億円
総資産		200,926億円	186,770億円	198,124億円	
純資産		53,286億円	52,405億円	52,417億円	
自己資本比率		24.3%	25.5%	24.2%	
業績評価		増収増益	減収減益	減収減益	

* () 内は対前年同期増減率
(注1) 本邦以外の地域に属する主な国又は地域は以下の通りである
(1) 北米…米国、カナダ、メキシコ
(2) 欧州…フランス、イギリス、スペイン、その他欧州諸国
(3) アジア…中国、タイ、インド、その他アジア諸国
(4) その他地域…大洋州、中近東、南アフリカ、メキシコを除く中南米
(注2) 設備投資と減価償却費は、ファイナンスリース関連の金額を含む

<2026年度 第1四半期決算 参考資料> (連結②)

小売販売台数及び生産台数

2026年8月3日

日産自動車株式会社

	当第1四半期実績 27年3月期	当第1四半期実績 26年3月期	前年度実績 26年3月期	当期予想 27年3月期
グローバル販売台数（小売）				
日本（軽を含む）	88千台（+1.3%）	87千台（▲11.1%）	399千台（▲13.5%）	430千台
北米	328千台（+4.2%）	315千台（▲2.4%）	1,291千台（▲0.9%）	1,320千台
（内 米国）	243千台（+9.6%）	221千台（▲6.5%）	906千台（▲3.4%）	
欧州	64千台（▲14.6%）	75千台（▲5.1%）	317千台（▲9.7%）	340千台
アジア（注1）	154千台（+2.9%）	150千台（▲26.2%）	775千台（▲7.9%）	
（内 中国）	130千台（+7.2%）	121千台（▲27.5%）	653千台（▲6.3%）	580千台
その他	66千台（▲17.4%）	81千台（▲4.3%）	369千台（▲8.1%）	（注2）480千台
計	701千台（▲0.9%）	707千台（▲10.1%）	3,151千台（▲5.8%）	3,150千台
グローバル生産台数				
日本	138千台（+3.2%）	134千台（▲13.4%）	558千台（▲13.1%）	
北米（注3）	280千台（▲0.2%）	281千台（▲8.0%）	1,117千台（▲5.3%）	
欧州（注4）	55千台（▲9.0%）	60千台（▲23.6%）	279千台（+1.0%）	
アジア（注5）	142千台（▲15.0%）	167千台（▲23.6%）	824千台（▲7.8%）	
その他（注6）	31千台（▲0.6%）	31千台（▲14.2%）	125千台（+13.2%）	
計	646千台（▲4.0%）	673千台（▲9.7%）	2,903千台（▲6.4%）	2,800千台

*（ ）内は対前年同期増減率

* グローバル販売台数(小売)及びグローバル生産台数の中国・台湾については、1-12月ベースの数字

(注1) 大洋州を含む

(注2) アジア（除、中国）を含む

(注3) 米国、メキシコの生産台数

(注4) 英国の生産台数

(注5) 台湾、タイ、中国、インドの生産台数

(注6) 南アフリカ、ブラジル、エジプトの生産台数

	当第1四半期実績 27年3月期	前第1四半期実績 26年3月期	前年度実績 26年3月期
連結売上台数			
日本	87千台（▲6.9%）	94千台（▲5.3%）	385千台（▲12.2%）
海外	461千台（▲4.9%）	485千台（▲8.0%）	2,049千台（▲7.6%）
計	548千台（▲5.2%）	578千台（▲7.5%）	2,435千台（▲8.4%）
連結生産台数			
日本	138千台（+3.2%）	134千台（▲13.4%）	558千台（▲13.1%）
在外連結子会社	371千台（▲11.2%）	418千台（▲8.1%）	1,598千台（▲9.6%）
計	510千台（▲7.7%）	552千台（▲9.5%）	2,156千台（▲10.5%）

* 連結売上台数、連結生産台数は連結財務諸表のベースとなるものである

RE:NISSAN

2026年度 第1四半期決算報告

2026年8月3日



■ Re:Nissanの進捗



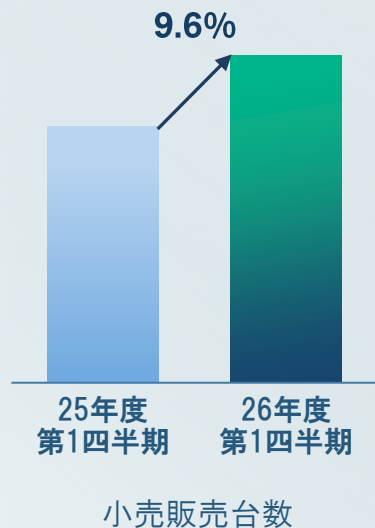
販売の勢いを拡大

RE:NISSAN

焦点を絞った取り組みが主要市場の成長を牽引
中国を除いたグローバルの販売台数は昨年度を上回る見通し

米国

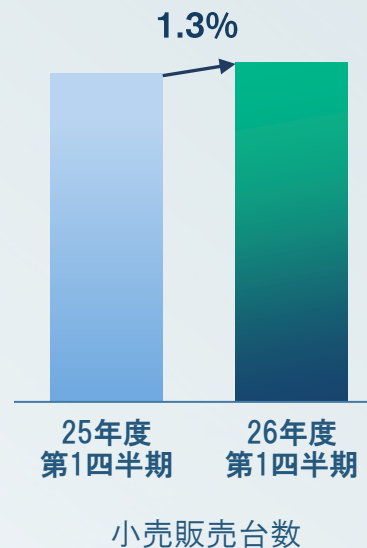
「米国生産・米国販売」戦略の着実な成果



- パスファインダー: 販売台数 +32%
四半期ベースで過去最高の販売台数
- フロンティア: 販売台数 +35%
- ローグ: 販売台数 +39%
2026年 J.D. Power IQSで
コンパクトSUV部門の最高評価を獲得
- インフィニティQX80: 販売台数 +19%
第1四半期として過去最高の販売台数

日本

厳しい状況から回復の兆し



- ルークス販売 +52%
- 新型車がお客さまから好評
 - キックス受注: 11,000台超
 - エルグランド受注: 8,000台超

■ グローバル環境の影響

RE:NISSAN

中国・中東における不確実性が業績と見通しに影響

中国

26年上期(暦年)は市場の縮小に対して
堅調な推移

- 上期(1月-6月): 全需が想定より早く縮小
- 全需が22%縮小する中、日産の販売は15%減少
- 新エネルギー車(NEV) への注力を継続
(N6, N7, NX8, フロンティアプロ)



N6
中国

中東

- 供給に制約がある中、需要は堅調
- 市場シェアと収益性を両立するため、販売台数を適切に管理
- 代替物流ルートを確立
第2四半期以降の供給改善を見込む
- サプライチェーンが正常化するまでは、
不透明な環境と代替輸送への依存が収益に影響

コスト改善効果

600億円

第1四半期も継続して
コストを削減

生産・研究開発の継続的な取り組みにより、効率を向上

固定費

- 時間当たりのエンジニアリングコスト(労務費単価)を20%改善する目標を前倒しで達成
- 一般管理費のコスト管理を徹底

変動費

- 開発・生産・購買など、ものづくりを中心とした全社的なコスト低減活動を拡大

▼ 3,150億円

Re:Nissanの取り組みによるコスト改善総額



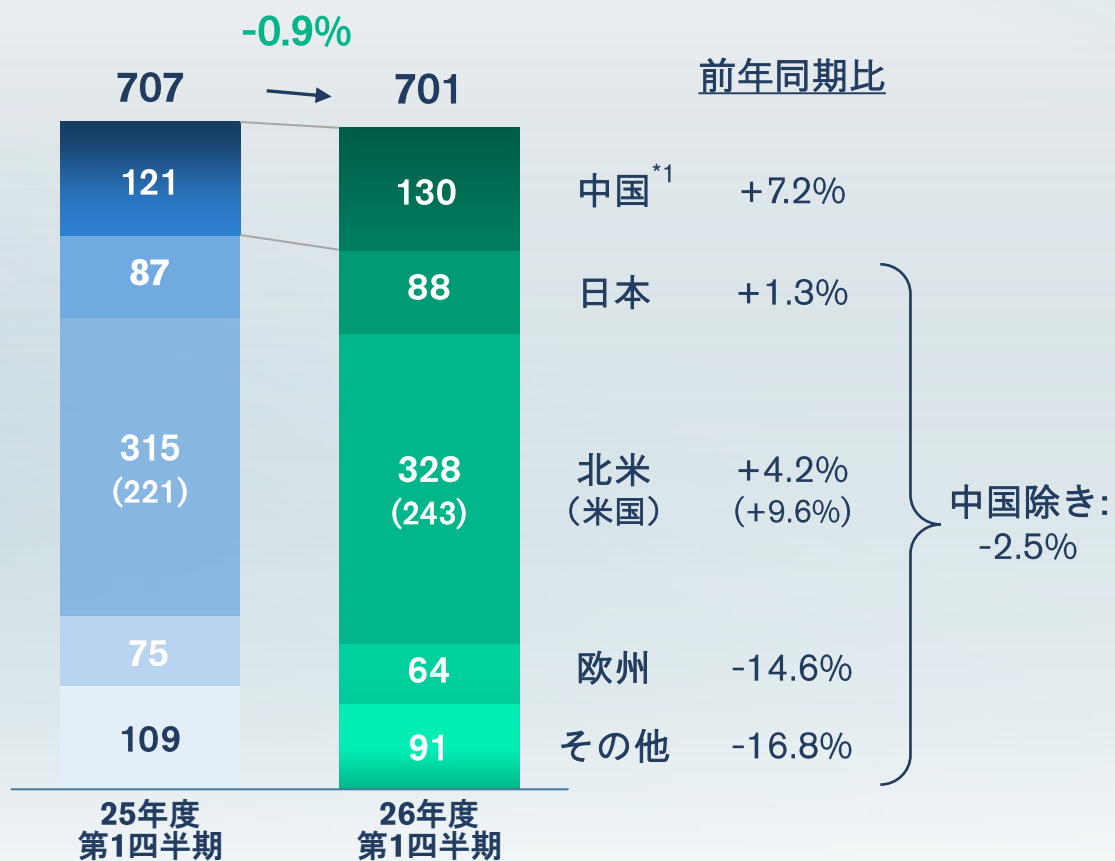
■ 第1四半期実績



小売販売台数

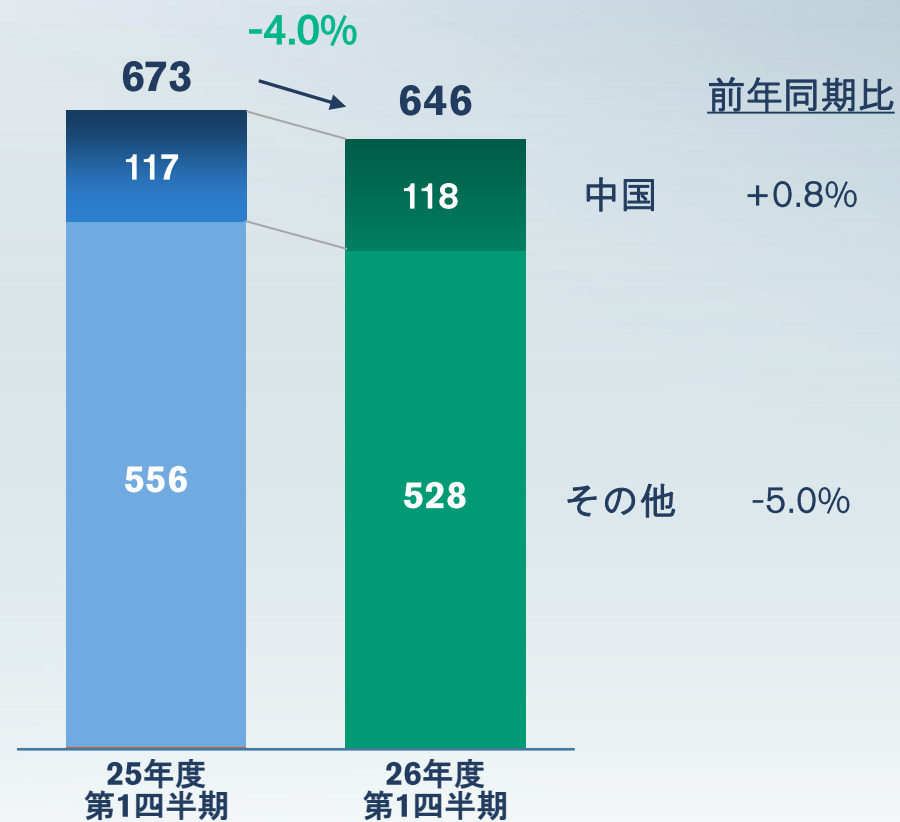
小売販売台数

(千台)



生産台数^{*2}

(千台)



*1 中国小売販売台数は暦年ベース。2026年1月－6月累計は237千台、2025年1月－6月累計は279千台

*2 パートナーによる生産委託車両を含まない

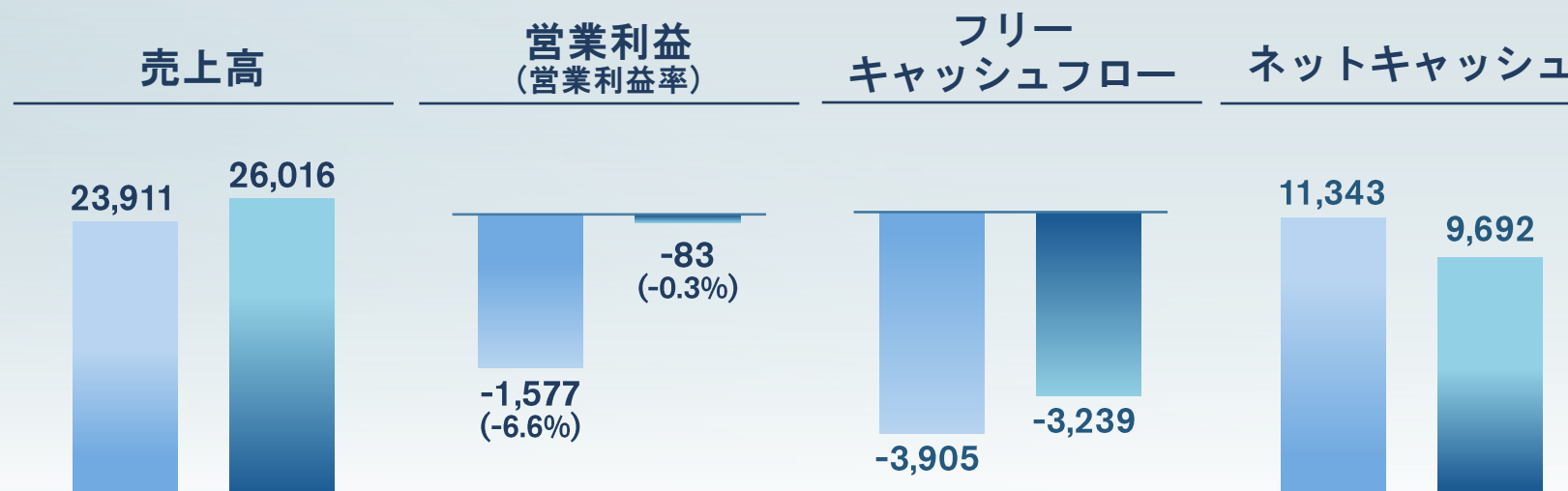
26年度 第1四半期 財務実績

■ 25年度 第1四半期 ■ 26年度 第1四半期 (億円)

連結計



自動車事業
及び消去



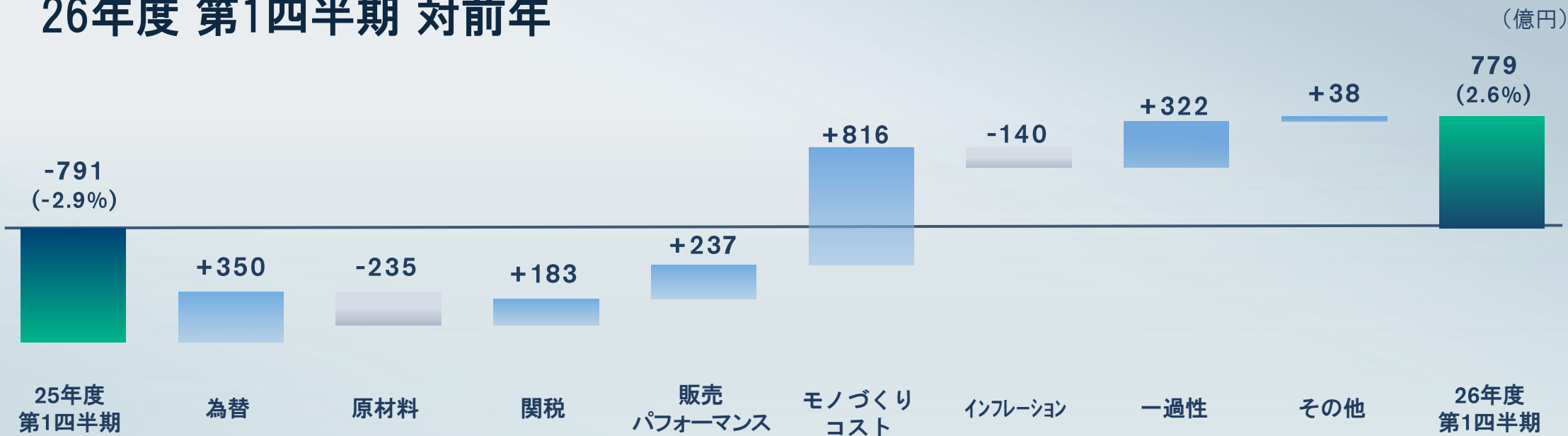
流動性の状況
(2026年6月末時点)

- 自動車事業手元資金:
21,244億円(2026年3月末時点:
21,721億円)
- 未使用コミットメントライン: 21,528
億円(2026年3月末時点:
23,116億円)

* 親会社株主に帰属する当期純利益

■ 営業利益増減分析

26年度 第1四半期 対前年



販売パフォーマンス		モノづくりコスト		インフレーション		一過性		その他	
台数/構成	+41	生産費用	+202	モノづくり	-97	製品保証引当金 見積りの変更	-289	販売金融 -クレジットロス -その他	-8 +2 -10
販売費用/ 価格改定	+283	物流費	+56	その他	-43	米国関税	+611	リマーケティング*	-44
アフターセールス	-75	規制対応/ 商品性向上	-27					一般管理費	+4
その他	-12	研究開発費	+250					その他	+87
		車両コストの 改善	+310						
		その他	+24						

■ 2026年度見通し



2026年度台数見通し

小売販売台数

(千台)



生産台数^{*2}

(千台)



*1 中国小売販売台数は暦年ベース

*2 パートナーによる生産委託車両を含まない

■ 2026年度見通し

5月に発表した業績見通しを維持

(億円)

	25年度 実績	26年度 見通し	対前年
売上高	120,079	130,000	+9,921
営業利益	580	2,000	+1,420
営業利益率	0.5%	1.5%	+1.0ポイント
当期純利益*1	-5,331	200	+5,531
為替レート*2 (ドル/円)	151	150	-1
(ユーロ/円)	175	175	-
一株当たり配当金(円)	0	0	

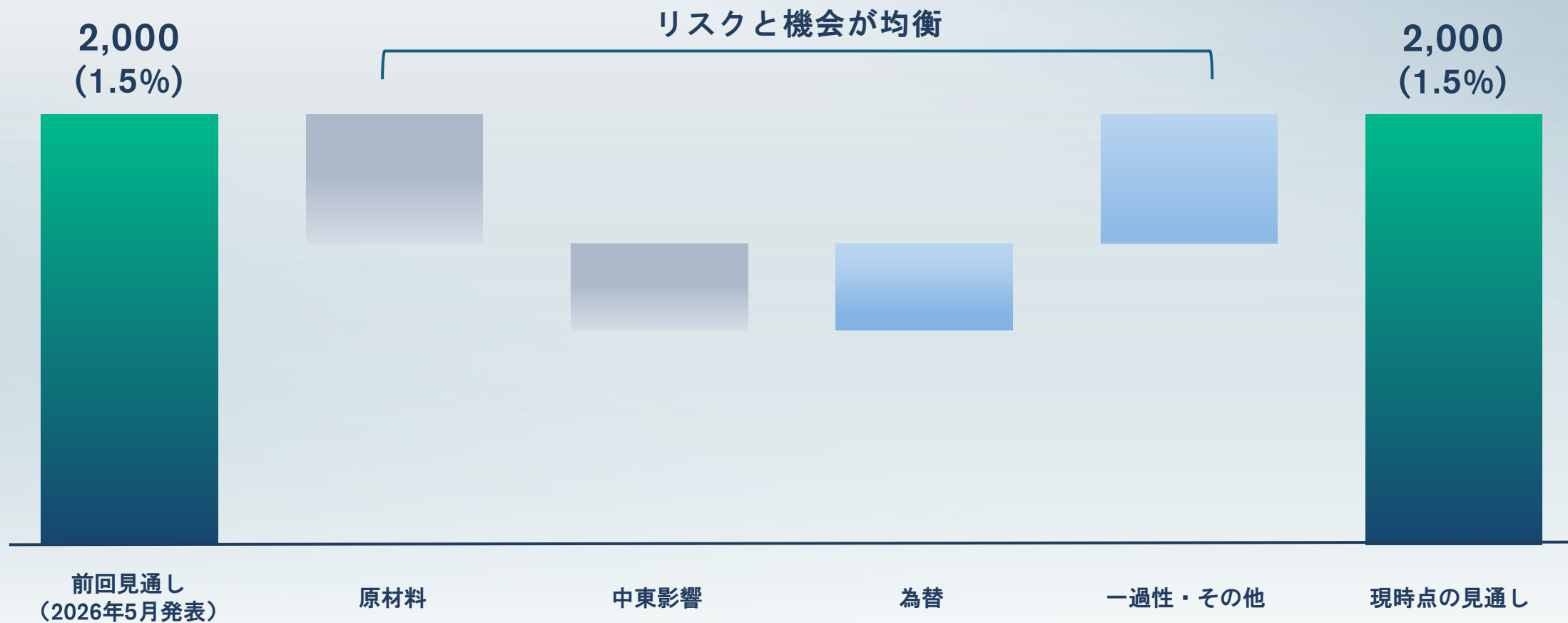
*1 親会社株主に帰属する当期純利益

*2 為替レートは通期平均値

■ 営業利益増減分析

対前回見通し

(億円)



■ 第1四半期 実績サマリー



販売実績

- 米国:販売台数は前年比9.6%増と好調を維持
- 日本:販売台数は1%増加、新型車への高い評価を追い風に回復基調へ
- 中国:暦年上期販売は市場全体が22%減少する中15%減。第1四半期(1-3月)の販売は7%増
- 中東:需要は堅調。物流・サプライチェーンの混乱が収益に影響

財務実績

- 連結営業利益は対前年に対して1,570億円改善し、779億円に
- 関税影響込みでも自動車事業の営業利益はほぼ損益均衡
- Re:Nissanのコスト改善が対前年で600億円の改善に貢献
- 当期純利益は38億円の黒字
- 自動車事業ネットキャッシュは約1兆円を維持

26年度見通し

- 26年度業績目標を維持
 - 黒字の連結営業利益。自動車事業の営業利益とフリーキャッシュフローは関税影響を除き黒字
 - 期末の自動車事業ネットキャッシュは1兆円を上回る
 - 当期純利益200億円の黒字
- 主に中国の市場環境を反映し、販売台数見直しを見直し
- Re:Nissanは2026年度末の目標達成に向けて順調に進捗

■ 第2四半期以降も勢いを拡大

RE:NISSAN

- 各市場で市場特性にあわせた戦略を加速し、競争力の高い新型車で販売を向上

米国

「米国生産・米国販売」戦略と
新型車投入により勢いを継続

日本

新車効果で回復の勢いを定着させ、
持続的な2桁シェアにつなげる

中国

在庫適正化とNEVの販売拡大により事業
を再構築し、2027年の成長に向けた
基盤を構築

今後の投入モデル

ローグ e-POWER

米国



エルグランド

日本



NX8

中国



テクトン

インド

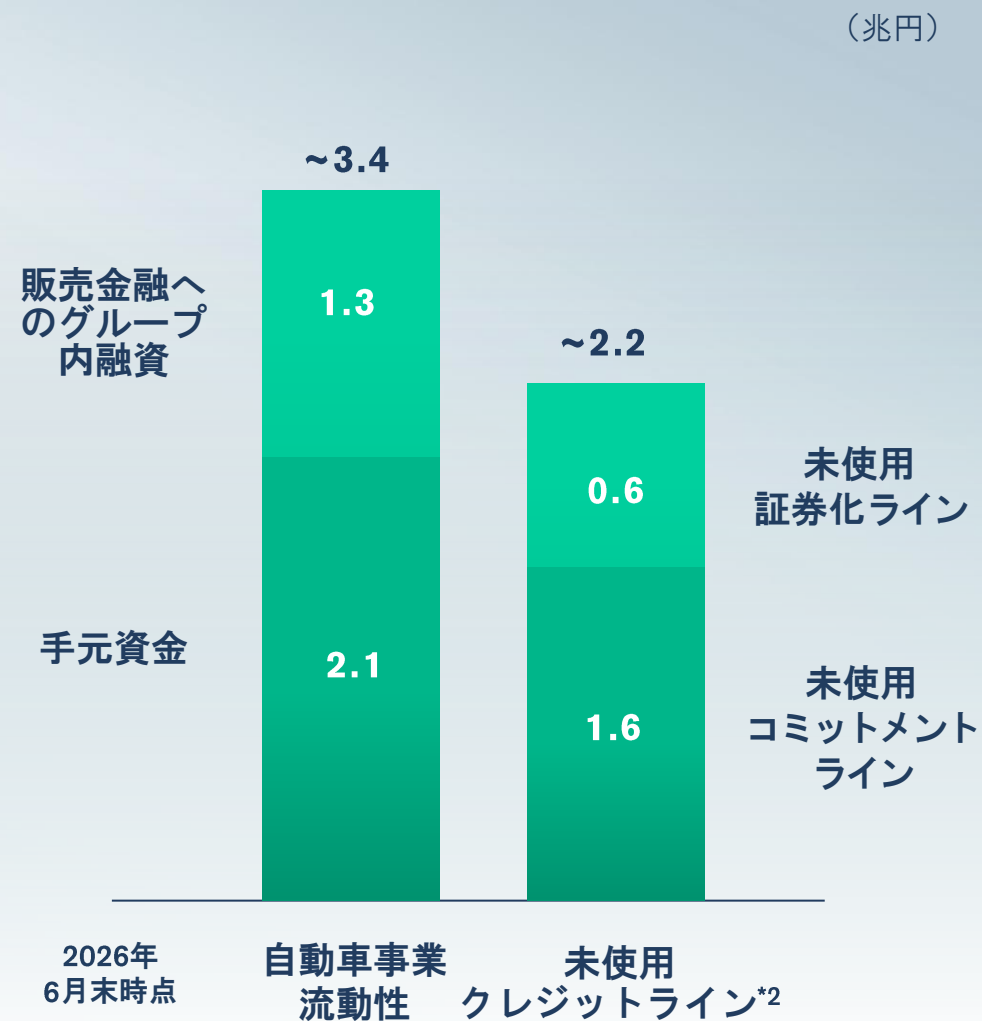
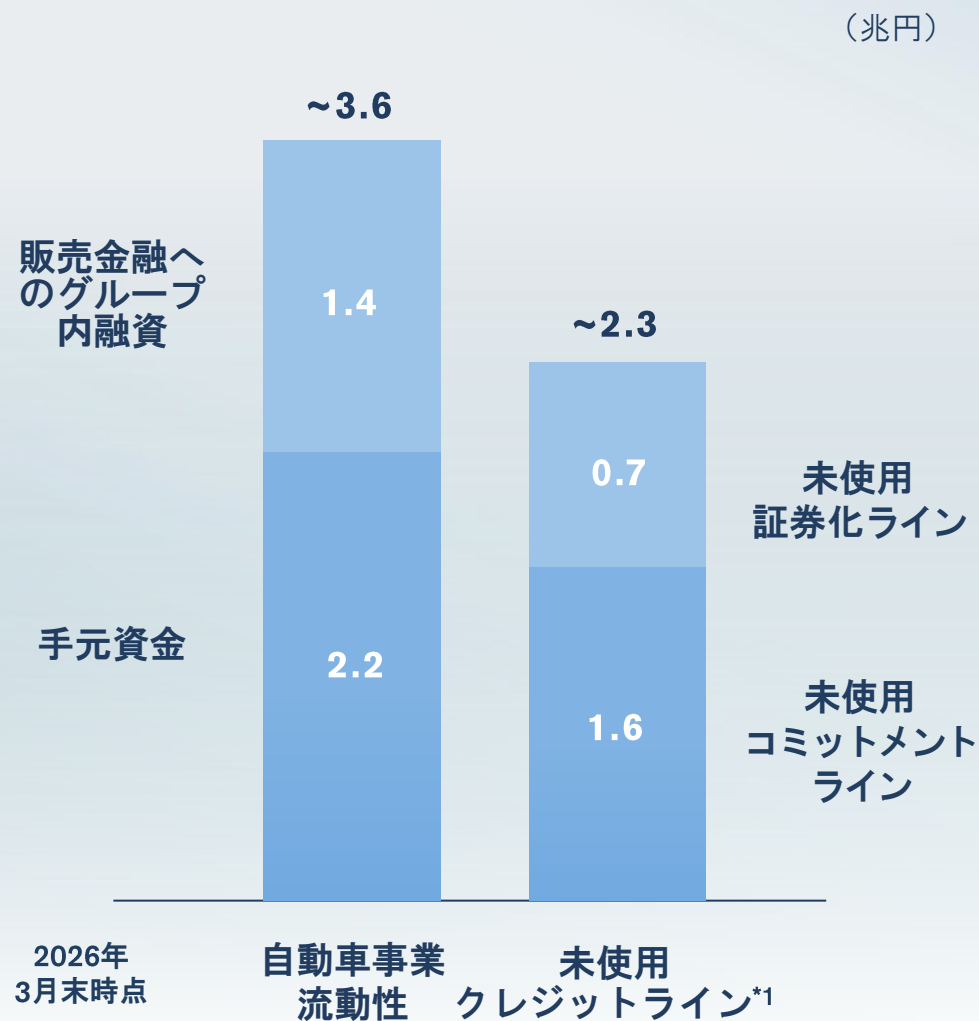


**MOBILITY INTELLIGENCE
FOR EVERYDAY LIFE**

モビリティの知能化で、毎日を新たな体験に

参考資料

流動性の状況



*1 未使用証券化ラインは販売金融関連、未使用コミットメントラインの内訳は、自動車事業で6,000億円、販売金融で1兆円

*2 未使用証券化ラインは販売金融関連、未使用コミットメントラインの内訳は、自動車事業で7,000億円、販売金融で9,000億円

■ 販売金融

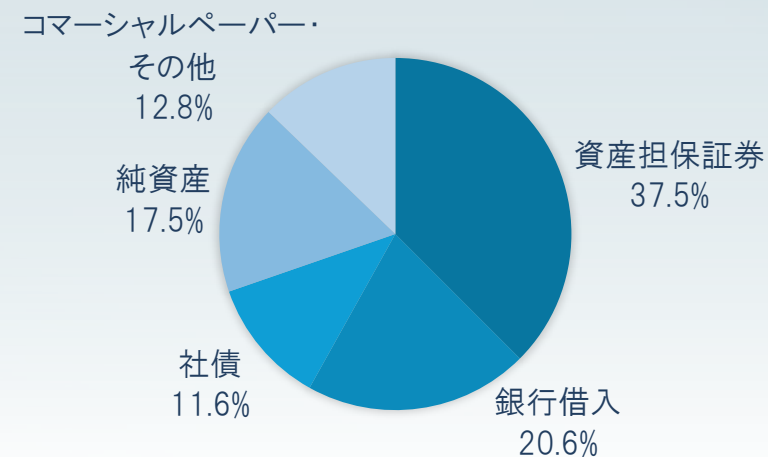
■ 25年度 第1四半期 ■ 26年度 第1四半期（億円）



- 営業利益は、為替の影響を受け、前年同期比で増益
- 主に米国において、メキシコからの輸入車向けの販売施策が米国・日本生産車と異なることにより、ペネトレーションは低下
- ネット・クレジットロスは安定的に推移しており、業界平均並みの水準
- 多様な資金調達方法と強固な流動性及び自己資本を維持

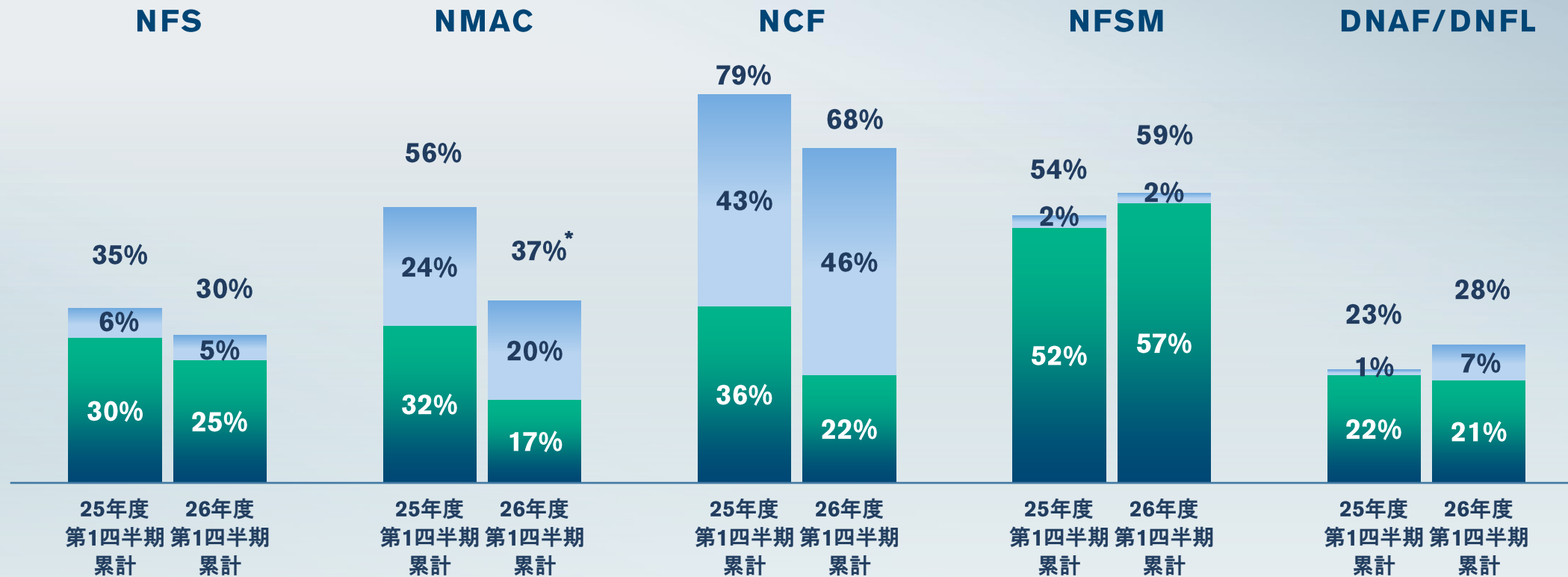
資金調達方法（2026年6月末現在）

総資金調達金額：10兆2,810億円



ペネトレーション

■ リース ■ リテール



NFS: 日産フィナンシャルサービス（日本）

NMAC: Nissan Motor Acceptance Company LLC（米国）

NCF: Nissan Canada Inc.の販売金融部門（カナダ）

NFSM: Nissan Finance Services Mexico（メキシコ）

DNAF: Dongfeng Nissan Auto finance（中国）

DNFL: Dongfeng Nissan Financial Leasing（中国）

* NMAC: ペネトレーションの低下は、米国・日本生産車と異なる販売施策を採用するメキシコ輸入車の影響によるもの。

■ ネット・クレジットロスレシオ

	NFS			NMAC			NCF			DNAF/DNFL		
	リース	リテール	合計	リース	リテール	合計	リース	リテール	合計	リース	リテール	合計
25年度 第1四半期	0.01%	0.06%	0.05%	0.34%	0.80%	0.63%	0.05%	0.19%	0.11%	5.56%*	0.88%	1.87%
26年度 第1四半期	0.01%	0.06%	0.05%	0.35%	0.97%	0.72%	0.04%	0.18%	0.10%	1.53%	0.97%	1.13%
増減	0.00pt	0.00pt	0.00pt	+0.01pt	+0.17pt	+0.09pt	-0.01pt	-0.01pt	-0.01pt	-4.03pt	+0.09pt	-0.74pt

NFS: 日産フィナンシャルサービス（日本）

NMAC: Nissan Motor Acceptance Company LLC（米国）

NCF: Nissan Canada Inc.の販売金融部門（カナダ）

DNAF: Dongfeng Nissan Auto finance（中国）

DNFL: Dongfeng Nissan Financial Leasing（中国）

* 25年度のDNAF/DNFLのリース・クレジットロスの上昇は、一社のフリートによるもの

■ 営業利益・資産

	NFS (億円)		NMAC (百万ドル)		NCF (百万カナダドル)		NFSM (百万メキシコペソ)		DNAF/DNFL (百万人民元)	
	資産	営業利益	資産	営業利益	資産	営業利益	資産	営業利益	資産	営業利益
25年度 第1四半期	14,941	89	40,090	273	8,414	67	129,953	1,405	32,909	220
26年度 第1四半期	14,960	84	38,268	285	6,784	46	147,836	1,456	33,762	216
増減	+19	-6	-1,822	+12	-1,631	-20	+17,882	+51	+854	-5

NFS: 日産フィナンシャルサービス（日本）

NMAC: Nissan Motor Acceptance Company LLC（米国）

NCF: Nissan Canada Inc.の販売金融部門（カナダ）

NFSM: Nissan Finance Services Mexico（メキシコ）

DNAF: Dongfeng Nissan Auto finance（中国）

DNFL: Dongfeng Nissan Financial Leasing（中国）

財務実績

	25年度 第1四半期	26年度 第1四半期	(億円) 増減
売上高	27,069	29,642	2,573
営業利益	-791	779	1,570
営業利益率	-2.9%	2.6%	5.5 ポイント
営業外損益*1	-301	-288	
経常利益	-1,092	491	1,583
特別損益*2	-189	-83	
税金等調整前当期純利益	-1,281	408	1,689
税金費用	141	-325	
少数株主利益*3	-18	-45	
当期純利益*4	-1,158	38	1,195
為替レート（ドル/円）	145	160	15
為替レート（ユーロ/円）	164	185	22

*1 持分法による投資損益 -165億円（25年度第1四半期）、-25億円（26年度第1四半期）を含む

*2 26年度第1四半期 減損損失 -12億円

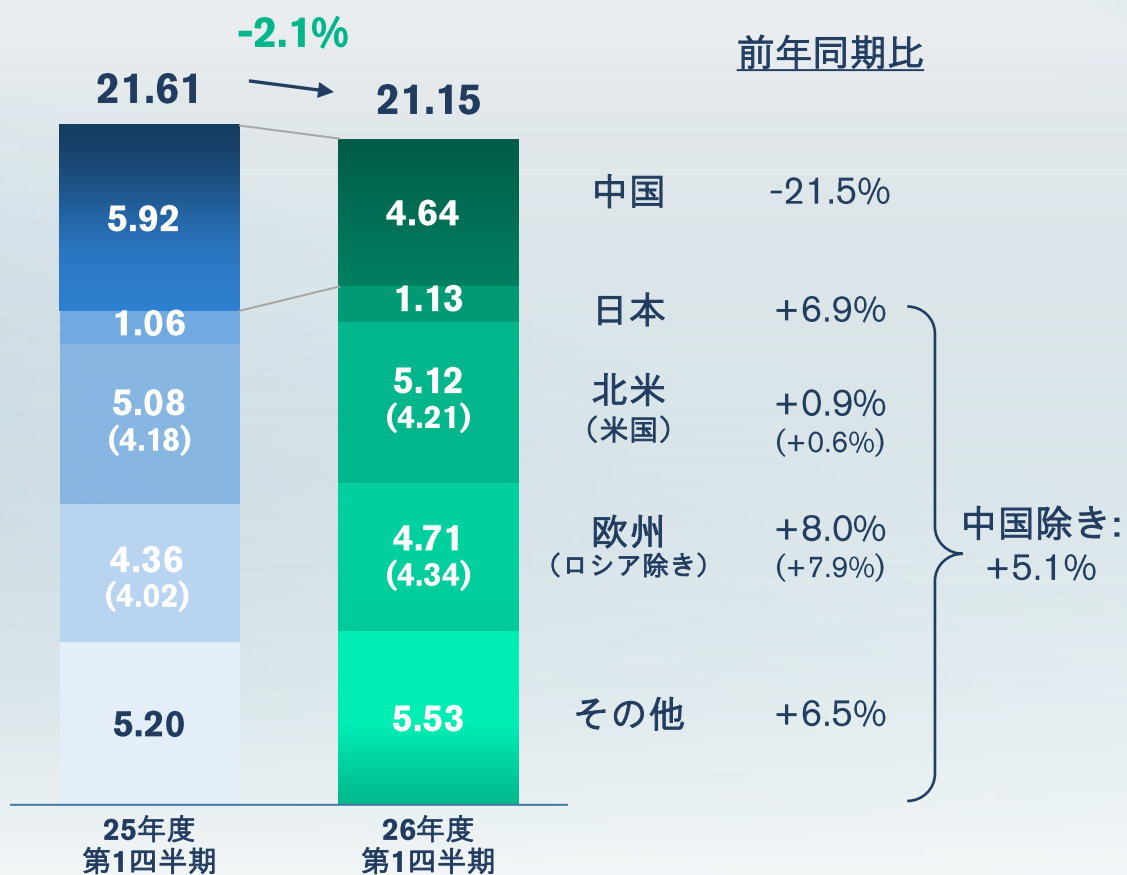
*3 非支配株主に帰属する当期純利益

*4 親会社株主に帰属する当期純利益

26年度 第1四半期 販売実績

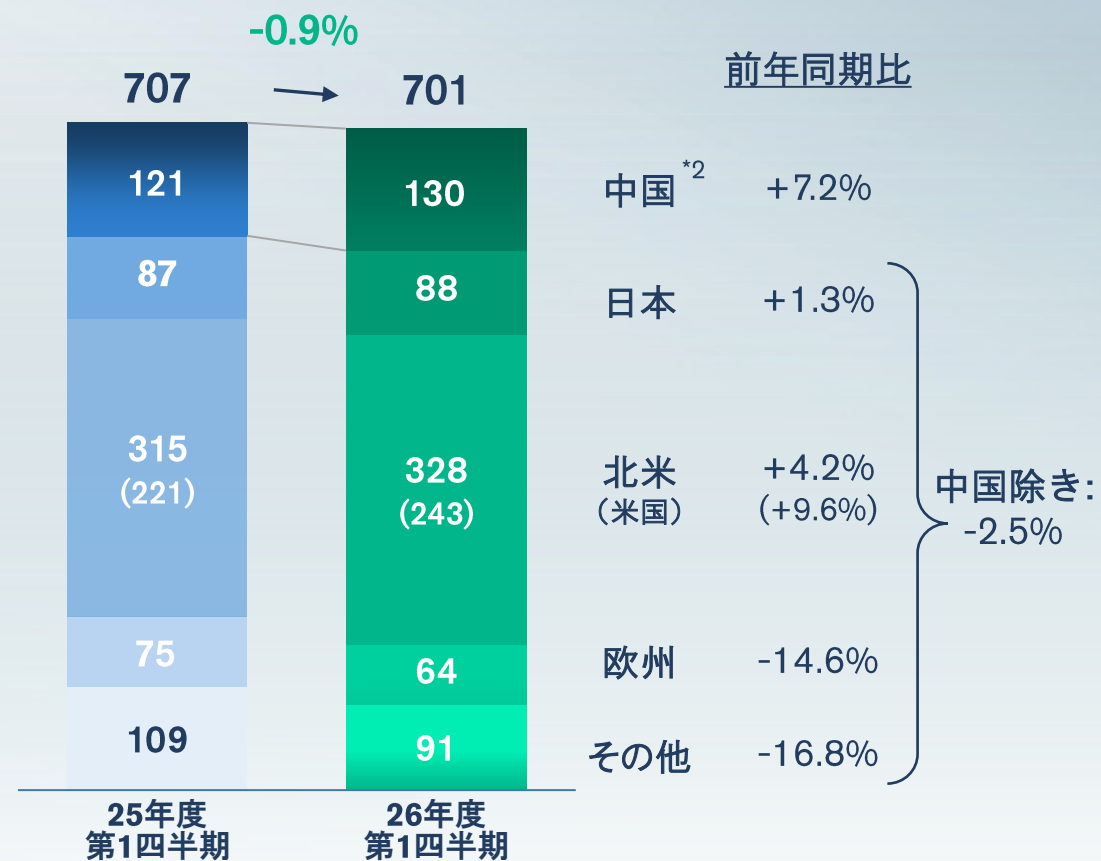
全需*1

(百万台)



小売販売台数

(千台)

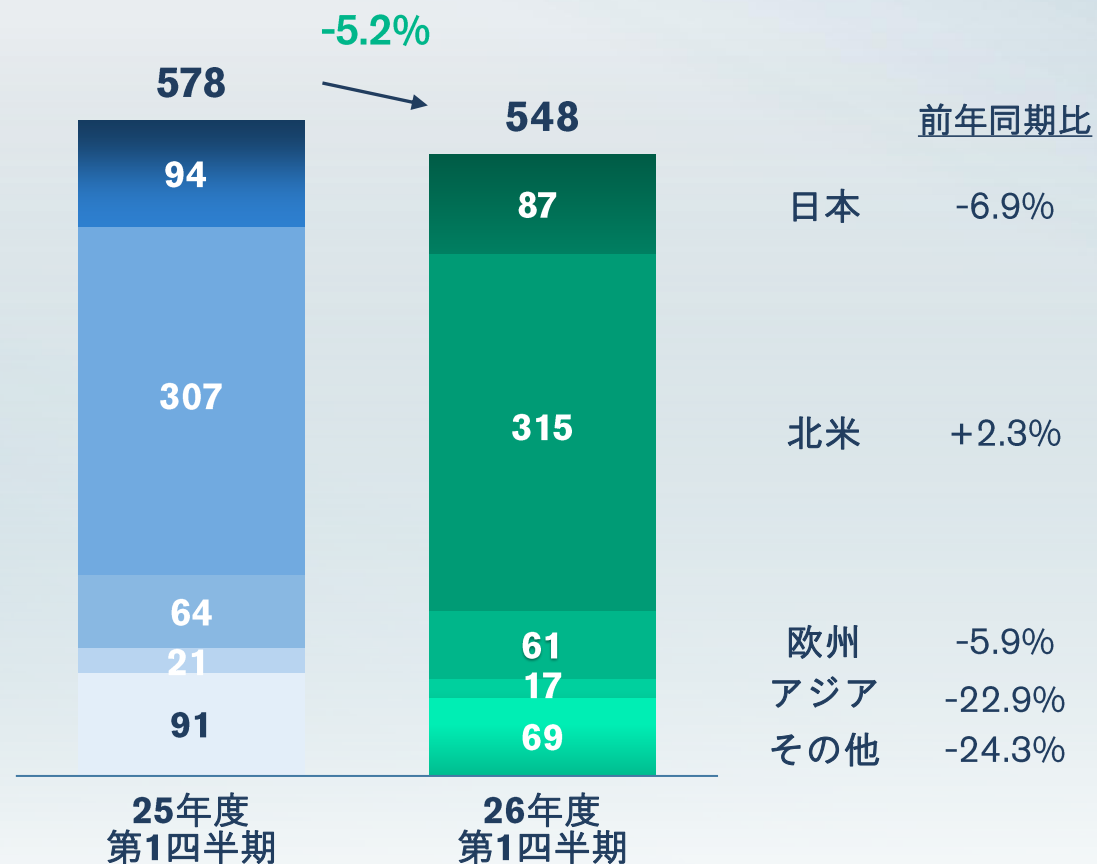


*1 全需は日産集計値、中国は現地ブランドとLCVを含む

*2 中国小売販売台数は暦年ベース

■ 26年度 第1四半期 連結販売台数

(千台)



■ 営業利益増減分析 為替

為替	25年度 第1四半期 レート	26年度 第1四半期 レート	営業利益影響 (億円)
米ドル	144.6	159.6	474
カナダドル	104.4	115.2	100
豪ドル	92.6	113.1	63
英ポンド	193.0	214.0	26
ブラジルリアル	25.5	31.6	18
トルコリラ	3.7	3.5	-15
タイバーツ	4.4	4.9	-37
ユーロ	163.8	185.4	-61
メキシコペソ	7.4	9.2	-89
中国人民元	20.0	23.4	-183
その他	--	--	54
合計	--	--	350

■ 営業利益増減分析 販売パフォーマンス

(億円)

26年度 第1四半期

台数・構成

	台数 ^{*1}	構成	販売奨励金 ^{*2}	合計
日本	-32	-17	-1	-50
米国	+403	+279	-224	+458
欧州	-59	-48	+63	-45
メキシコ・カナダ	-59	+81	-56	-35
その他	-449	+76	+85	-287
合計	-196	+370	-133	+41

販売費・価格改定

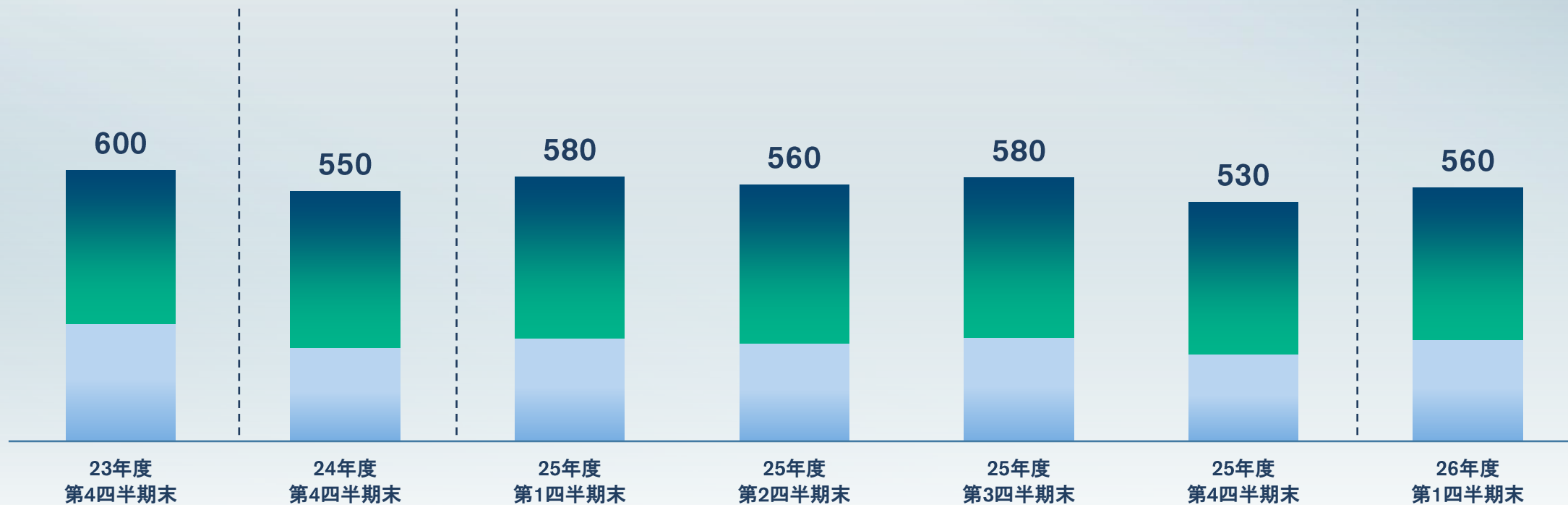
	販売奨励金 ^{*3} / 価格改定	その他	合計
日本	+18	+4	+21
米国	+239	+60	+299
欧州	-81	+12	-69
メキシコ・カナダ	-33	-9	-43
その他	+63	+11	+74
合計	+206	+78	+283

*1 カントリーミックスを含む *2 台数・構成による販売奨励金の増減 *3 台当たりの販売奨励金増減の影響

在庫状況（中国合併会社除く）

（千台）

■販売会社在庫（一部のマイナーな国を除く） ■日産連結在庫（一部のマイナーな国を除く）



自動車事業フリーキャッシュフロー

(億円)

26年度	第1四半期
PL項目による現金収支	+748
運転資本	-1,681
買掛金・売掛金	-458
在庫	-1,223
税金・その他営業活動	-1,742
営業活動によるキャッシュフロー	-2,675
設備投資*	-752
その他	+188
自動車事業フリーキャッシュフロー	-3,239
25年度	第1四半期
自動車事業フリーキャッシュフロー	-3,905

* ファイナンス・リース関連の投資は含まれない

■ 事業セグメント別 ネットキャッシュ

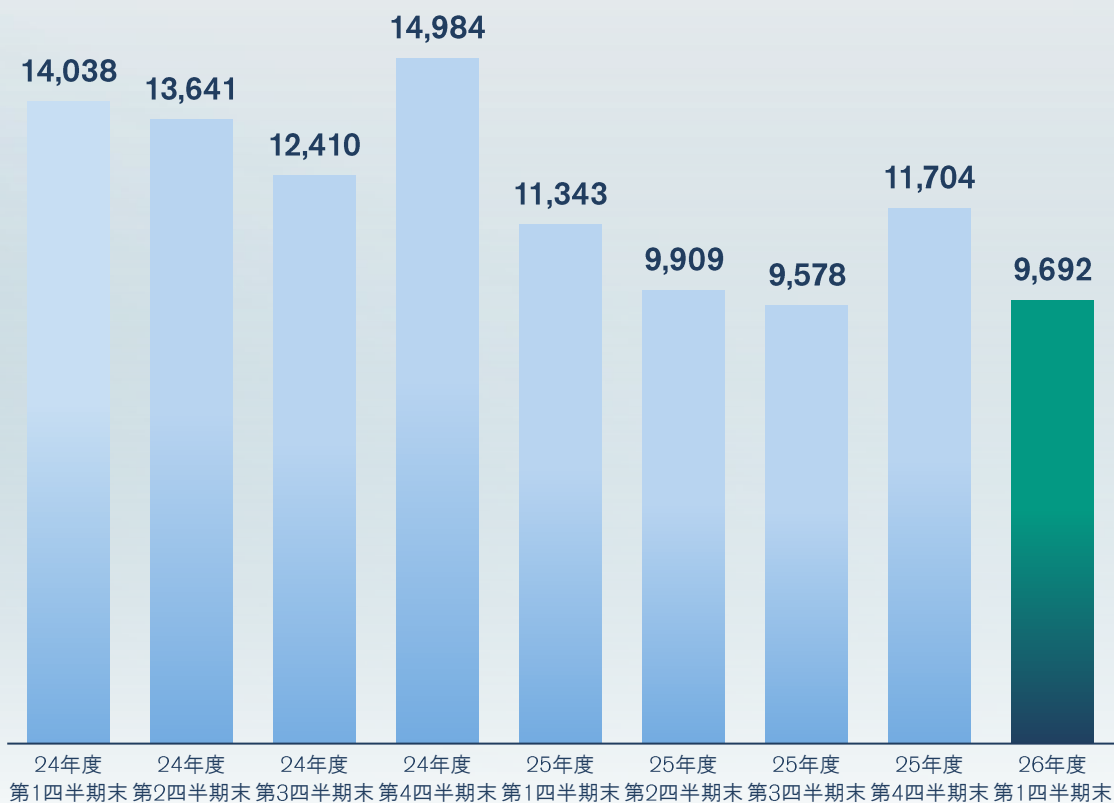
(億円)

	2026年3月31日時点			2026年6月30日時点		
	自動車事業 及び消去	販売金融事業	合計	自動車事業 及び消去	販売金融事業	合計
第三者借入	23,767	65,434	89,201	24,278	67,595	91,874
販売金融へのグループ内融資 (ネット)	-13,750	13,750	0	-12,726	12,726	0
手元資金	21,721	927	22,648	21,244	969	22,212
ネットキャッシュ	11,704	-78,257	-66,553	9,692	-79,353	-69,661

自動車事業 ネットキャッシュ及びフリーキャッシュフロー

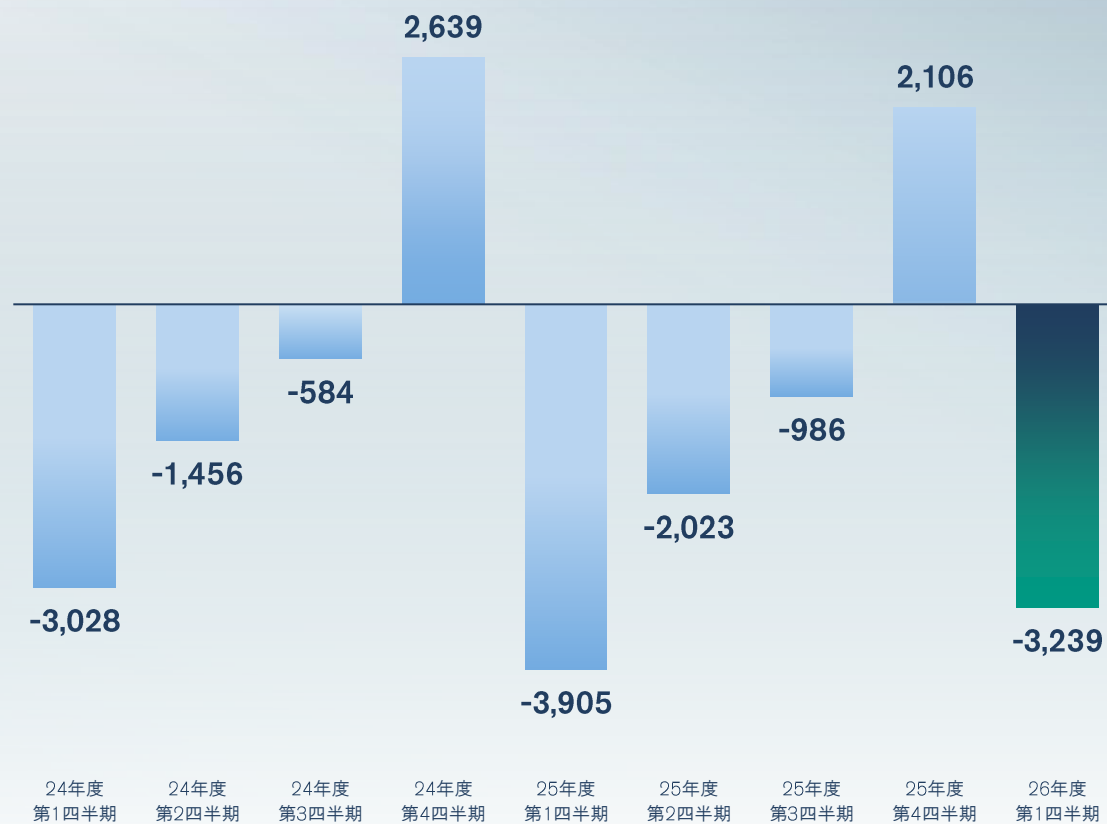
自動車事業ネットキャッシュ

(億円)

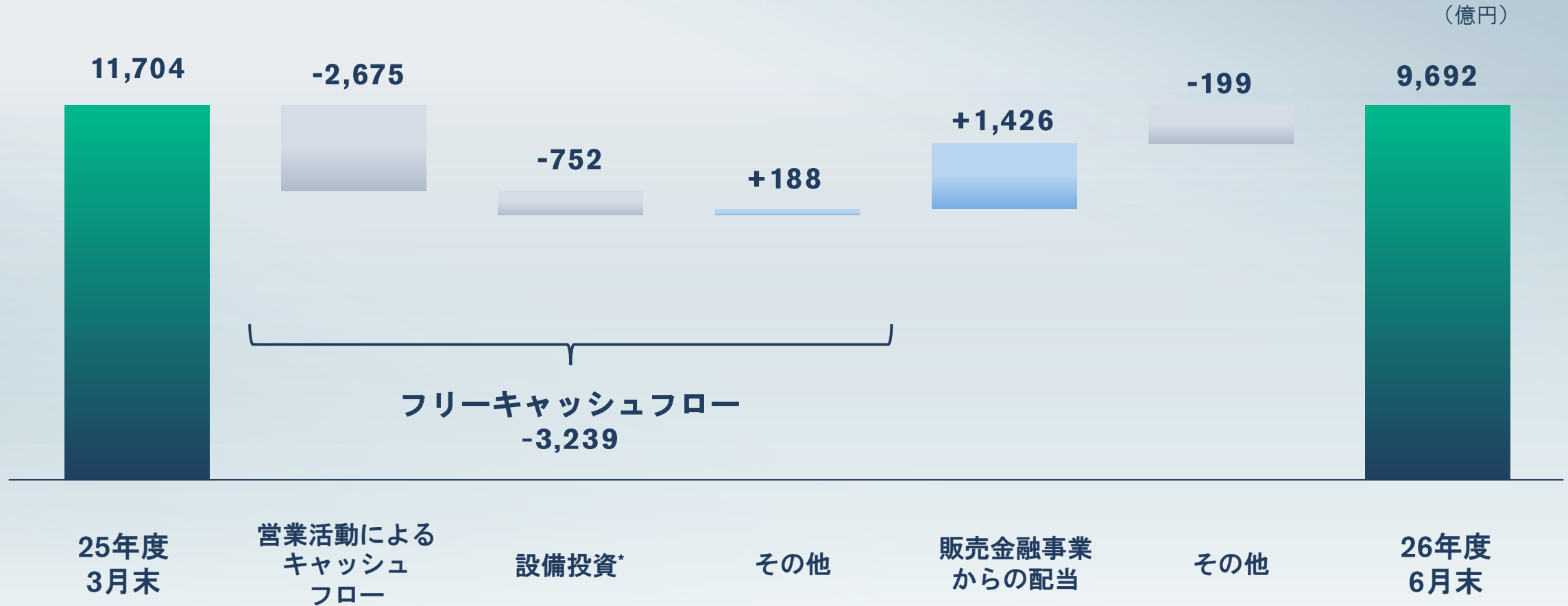


自動車事業フリーキャッシュフロー

(億円)



自動車事業 ネットキャッシュ変動分析



* 設備投資: ファイナンス・リース関連の投資は含まれない

本資料に記載されている将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいており、リスクと不確実性を含んでいます。従いまして、今後の当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等により、実際の業績がこれらの記述と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。